

討 論 本会議最終日、採決の前に議案に対して討論が行われました。

○県施行都市計画道路事業等整備基金条例の制定について

反 対

坂本 靖男議員

他の、県施行都市計画道路や本市施行都市計画道路(光町大土居線など)があるのに、なぜ那珂川宇美線、長浜太宰府線の2路線に限定した基金を創設するのかの理由が全く理解できない。

市民はすべての都市計画道路の早期全線開通を望んでおり、基金を創設するなら、市民誰もが望む全都市計画道路を対象にすべきであり、県施行2路線に限った基金条例の制定には反対。

賛 成

中原 智昭議員

大型事業を抱えている今、多額の地元負担金を伴う、県道事業について那珂川宇美線と長浜太宰府線に特化した基金の創設は必要。

また、市道整備についてはその時の市の財政状況を踏まえた上で、事業開始時に行うことが最善の方法であり、地元地区で建設促進期成会が立ち上げられるなど早期着工の要望があることから、県に要望する上でも基金創設は必要と考える。

○平成26年度一般会計予算について

反 対

村山 正美議員

消費税率3%の引き上げにより、国民に8兆円の大増税を押し付け、また、年金・医療などの引き下げで暮らしと経済に深刻な事態をもたらす国の予算に合わせざるを得ないとはいえ、市民生活を苦しめる予算となっており、反対せざるを得ない。

市独自の裁量による繰越金の増額や子ども医療費の小学校6年生までの対象拡大などは一定評価するが、ますます深刻化する高齢者の住宅問題など、民間の賃貸住宅の借り上げなどを含めた対策の早急な確立など、今後も徹底した無駄の排除、市民要求に応える努力を求める。

賛 成

竹下 尚志議員

厳しい財政状況の中、人件費の削減や事務事業の見直し、また、基金や市債の有効活用により、扶助費の確保が行われている他、小倉紅葉ヶ丘線改良や地区公民館大規模改修といった公共施設の更新も行われるなど、市民生活の安心や安全に努めた予算となっている。

生活基盤整備の推進に加え、(仮称)総合スポーツセンター整備や市営若草住宅建替などの大型事業の推進、子ども医療費支給対象拡大、がん検診無料券再配付、子育て情報誌作成などの新規事業にも積極的に取り組み、予算配分が的確になされ、市民ニーズに十分配慮されていることから賛成。

議決結果(賛否が分かれた案件)

※その他の案件については全員賛成で可決されました。

平成26年第1回(3月)定例会 件名	創政会					公明党				近未来 21		衆政会		翔春会		春風会		会派に所属 しない議員		議決結果
	與 國 洋	竹 下 尚 志	柴 田 英 明	坂 本 靖 男	米 丸 貴 浩	岩 切 幹 嘉	前 田 俊 雄	野 口 明 美	高 橋 裕 子	武 末 哲 治	榊 朋 之	五 藤 源 寿	塚 本 良 治	中 原 智 昭	迫 賢 二	松 尾 徳 晴	白 水 勝 己	村 山 正 美	近 藤 幸 恵	
県施行都市計画道路事業等整備基金条例の制定	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	原案可決
平成26年度一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	原案可決
平成26年度一般会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	原案可決

※金堂清之議員(近未来21)は議長職のため、表決権はありません。

(○)賛成 (●)反対